

車内巡回、ゆっくり歩けますか!?

今回の「新幹線車内業務の見直し提案」で会社は、車掌長・車掌の担当号車を明らかにしています。ユニオンはその説明を鵜呑みにし、既に図にして情報化しています。

提案によると、車掌1名を削減した後の担当は、以下の分担となっております。

担当(のぞみ、ひかり、こだま共通)	車掌	車掌長
上り	①号車～⑦号車	⑧号車～⑯号車
下り	⑪号車～⑯号車	①号車～⑩号車

これまで3名で行っていた車掌の車内業務を2名でこなすということは、明らかに労働強化です。上記の割り振りを見た限りでも車掌長の負担が増えることは明らかです。これまで私たちは、車掌の負担を減らすために自由席の改札を省略するよう申し入れていますが、今回提案に関する会社・ユニオンとの交渉で、「可能な限り実施」という車掌の判断を迷わすような曖昧な会社の回答があります。一方、こだま号の名古屋～新大阪間の自由席改札は省略としているのですから乗務体制を見る上では全区間省略も可能なはずですが。

44万5千人/1日の利用者!

車内はほぼ満席! 2名の車掌で大丈夫か!?

4月の営業訓練で管理者は、車内巡回は「1列1秒」のペースで巡回するように言いました。以前から「3・3歩行」などと、車内を30秒・30歩で歩くような指導も依然として残っており、乗客から声をかけやすいことを理由としています。

現在、外国人旅行者が増加する中、1日平均380本の列車が運行され、1323席の座席もほぼ満席状態となり毎日44万5千人の乗客が利用しています。

車掌長・列車長の皆さん!

本当にこんな提案内容で今の仕事こなせますか!

車内改札は、データ化された発売・改札情報を基にした改札となり、車内巡回する時間が多く作れると会社は銘打っていますが、現状、通信時間がかかり、割引き証明の確認等もあり、巡回する時間が多くなって良かったという実感を感じている車掌は一人もいません。このような中でも毎日、車内では煩雑な業務が発生し特にGW期間中の車内は不慣れな乗客に対する案内が多く発生し、3名の車掌が協力し新大阪～東京間の乗務区間を何とかこなしているというのが現実でした。

今回の会社による車掌1名の減数は、車掌への負担と同時に乗客への案内・サービスが低下すること、安全確保の面でも問題となり、現実離れしている提案です。車内巡回の歩行速度の悠長な指導も現場の状況を無視した指導です。

すでに、このような問題が明らかになっているのですから、私たちは反対を主張しています。

中乗り車掌の業務は、JRCPへの業務委託に置き換えられない!